

# 芦屋市一般廃棄物処理基本計画の概要

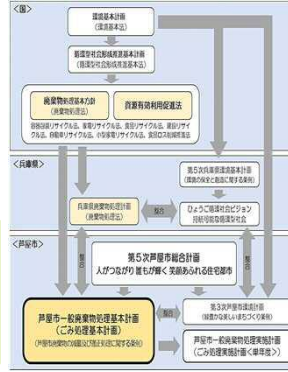
未来の芦屋市で暮らす人たちのために、より良い環境を残していけるように、ごみの減量、資源化を推進し持続可能な社会を目指すための計画です

## ● 計画の基本的事項

- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条に基づく法定計画
- ・芦屋市のごみに関する計画
- ・対象期間は令和4年度～令和13年度（令和8年度に中間目標）

## ● 本計画における改定のポイント

- ・一人ひとりがごみのことを自分ごとと意識するという目的の強化
- ・SDGs、カーボンニュートル等計画策定の背景の取り入れ
- ・目標値の見直し（1人1日当たりの家庭系ごみ排出量、リサイクル率を重点目標に設定）
- ・柔軟に取り組めるよう5つの基本方針を策定
- ・指定ごみ袋の導入、紙ごみの資源化、リサイクルの推進を重点取組として取り組む

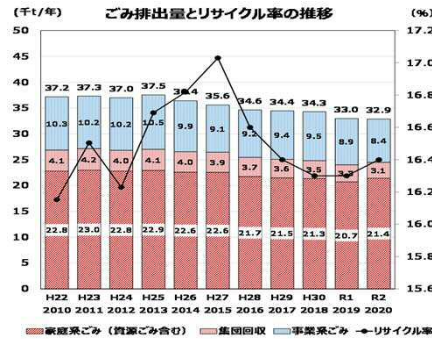


## ● 芦屋市のごみの現状

中間目標の達成状況（前計画）

項目	単位	H27年度実績値	R2年度実績値	R2年度中間目標	中間目標達成状況	R8年度最終目標
1人1日当たりごみ排出量	g/人・日	1,001.4	943.1	948.1	○	874.4
1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	g/人・日	568.0	549.9	528.8	×	473.5
事業系ごみ排出量	t/年	9,132	8,385	8,584	○	7,762
集団回収量	t/年	3,894	3,074	3,979	×	4,123
リサイクル率	%	17.1	16.4	18.9	×	21.1
最終処分量	t/年	5,194	4,344	4,825	○	4,339

ごみ排出量はH25年度から緩やかに減少  
リサイクル率はH27年度から減少後やや回復していますが、兵庫県下では1人1日当たりの家庭系ごみ排出量が多い方の自治体です。



## 分別の現状

燃やしたごみの灰は神戸沖に埋め立てています。

分別が進まないと、燃やすごみが増え、埋立て量が増えます。燃やす量が多いとCO2も多くなります。

また、金属は燃えないため、金属が入っていると灰は重くなるし、金属の種類によっては規制がかかり埋立てできなくなります。

分別を進め、灰の量を減らし、地球環境を守る必要がありますが、実際は、減量は横ばい、水銀を含むごみが分別されず焼却炉が止まったこともありました。

指定ごみ袋※を導入しごみの見える化による意識の向上をはかり、分別の促進、減量の推進を目指します。

電池などの燃やせないごみ、土などの処分できないごみが、燃やすごみに混ぜられています。また、リサイクルできるもので1番混ざっているものは紙であり、紙ごみの分別が減量の課題となっています。



※指定ごみ袋（案）は裏面参照

## ● 新計画における取組

一人ひとりがごみのことを自分ごとと意識するために基本方針を設け柔軟に取り組めます

計画の体系イメージ



主な取組（○は重点取組 ○は重要課題）

- ・指定ごみ袋の導入
- ・紙ごみの資源化
- ・リサイクルの推進
- ・フードドライブ活動の拡充
- ・排出者責任の徹底
- ・新施設整備計画の推進
- ・プラスチックの分別の検討・住民参加の将来構想等

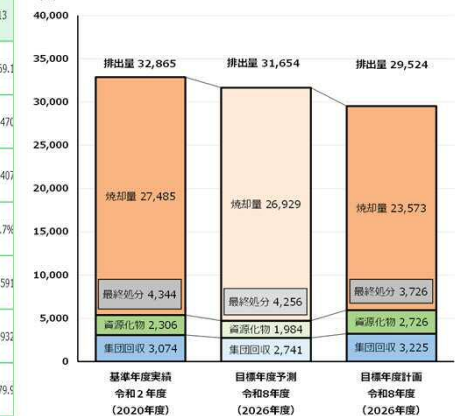
## ● 目標値の推移

施策を実行することで、まずは令和8年度の目標値の達成を目指します

項目	単位	実績値		推計値													目標値													
		H27	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度				
1人1日当たりごみ排出量 <sup>1)</sup>	g/人・日	1,001.4	943.1	941.2	952.4	919.5	886.1	880.2	874.4	871.9	870.9	870.2	869.7	869.1	874.4	874.4	874.4	874.4	874.4	874.4	874.4	874.4	874.4	874.4	874.4	874.4	874.4	874.4	874.4	
重点目標 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量 <sup>2)</sup>	g/人・日	568.0	549.9	548.2	540.8	515.2	489.1	481.4	473.5	472.8	472.1	471.4	470.6	470.1	473.5	473.5	473.5	473.5	473.5	473.5	473.5	473.5	473.5	473.5	473.5	473.5	473.5	473.5	473.5	
事業系ごみ排出量	t/年	9,132	8,384	8,648	8,905	8,447	7,995	7,875	7,762	7,673	7,592	7,520	7,458	7,407	7,762	7,762	7,762	7,762	7,762	7,762	7,762	7,762	7,762	7,762	7,762	7,762	7,762	7,762	7,762	
重点目標 リサイクル率	%	17.1	16.4	15.4	16.2	17.3	18.6	19.4	20.2	20.3	20.4	20.5	20.6	20.7	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	
最終処分量	t/年	5,194	4,344	4,380	4,345	4,107	3,874	3,799	3,726	3,706	3,674	3,643	3,613	3,591	3,726	3,726	3,726	3,726	3,726	3,726	3,726	3,726	3,726	3,726	3,726	3,726	3,726	3,726	3,726	
【参考1】資源化量 (資源化量+集団回収)	t/年	6,059	5,384	5,026	5,310	5,453	5,609	5,781	5,951	5,972	5,961	5,947	5,930	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932	5,932
【参考2】1人1日当たりの資源化量	g/人・日	171	155	145	154	160	165	171	176	177.0	177.7	178.5	179.2	179.5	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176

令和8年度の目標値（令和2年度比較）

- ・1人1日当たりの家庭系ごみ量 13.9%減
- ・リサイクル率 3.8ポイントUP
- ・ごみの総排出量 10.2%減
- ・最終処分量（灰の埋立て）14.2%減



# 芦屋市指定ごみ袋（案）

一人ひとりがごみのことを自分ごとと意識し、分別意識の向上のために指定ごみ袋の導入を検討しています

## ● 指定ごみ袋（案）

令和5年10月からの導入を目指しています。（令和5年4月試行期間開始予定）

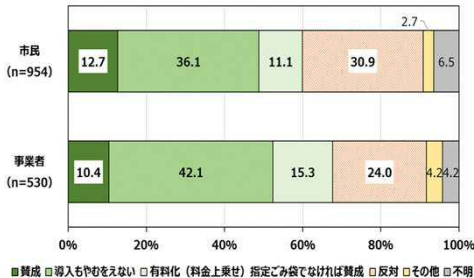
項目	検討中の家庭系指定ごみ袋仕様（案）
タイプ	芦屋市専用指定ごみ袋
厚さ	0.025mm 厚くて破れにくい袋を想定しています。 （参考 神戸市・西宮市 燃やすごみ用指定ごみ袋0.02mm）
価格	市場価格。有料化（芦屋市の収入を含めること）はしません。
種類	1種類（サイズは複数用意） 形は取っ手付き
環境対策	CO2排出抑制の工夫
対象	燃やすごみ・その他燃やさないごみ 今後の分別状況によっては対象を増やす場合があります。
その他	ビン、缶、ペットボトルは紙袋、段ボールでは捨てることができなくなります。 袋に着色顔料やデザインを入れ、完全な透明のごみ袋にはしません。 事業者のごみ、持込みごみは中身が見える透明・半透明の袋のみ可とします。

令和3年2月～3月に実施した指定ごみ袋に関する市民アンケート結果を踏まえた指定ごみ袋（案）を策定しています。

## ● 指定ごみ袋に関するアンケート結果抜粋

調査期間 令和3年2月15日～令和3年3月15日 回答数 市民：954件（47.7%）事業者：530件（26.5%）

指定ごみ袋に関するアンケート調査の結果、指定ごみ袋制度の導入に賛同の回答は、市民の約60%、事業者の約68%でした。（「導入もやむを得ない」「有料化でなければ賛成」を含む。）



主な反対意見	対策
ごみ袋が透明になると個人情報等が気になる	袋にデザインをいれたり、少し着色顔料をいれます。また、運用では内袋の使用を認めます。
ごみ袋にかかる費用が高くなる気がする	ごみ処理料金を上乗せした有料化は行いません。
指定ごみ袋を売っている店が限られ購入が手間になる	ごみ袋の種類は1種類のみになります。市内のスーパー、コンビニ、ドラッグストア等に依頼します。

## ● 指定ごみ袋を導入する理由

分別が悪いと、燃やすごみが増え、海への灰の埋立て量や、焼却によるCO2が増えます。

芦屋市は県下でも1人当たりのごみ量が大きく、神戸沖への埋立て量が非常に多いです。

分別の問題に起因する水銀による焼却停止や鉛の混入による埋立て禁止等も起きています。

ごみ量は近年横ばい、分別による問題もあるため、指定ごみ袋を導入し改善をはかります。

## ● 指定ごみ袋の効果

指定ごみ袋を導入している他市（兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県の同規模自治体）に取得したアンケートでは、燃やすごみの減量効果だけでなく、様々な効果がみられます。

自治体名	指定ごみ袋導入年度	人口規模	燃やすごみの量				市民意識の向上	
			削減率	減量	分別	ごみ捨てマナー		
兵庫県A市	平成14年度	40万人～50万人	11.00%	改善した	改善した	分からない		
大阪府B市	平成16年度	40万人～50万人	11.40%	改善した	分からない	分からない		
兵庫県C市	平成27年度	10万人以下	7.50%	改善した	改善した	改善した		
大阪府D市	平成18年度	10万人～20万人	12.90%	改善した	改善した	分からない		
兵庫県E市	平成18年度	10万人以下	23.90%	分からない	分からない	分からない		
兵庫県F市	平成19年度	10万人以下	27.90%	分からない	改善した	改善した		
兵庫県G市	平成20年度	10万人以下	11.60%	わずかに改善	大きく改善した	改善した		
大阪府H市	平成22年度	10万人～20万人	15.40%	大きく改善した	全く改善しなかった	改善した		

赤字は有料化指定ごみ袋を導入している自治体

指定ごみ袋を導入することで、ごみ見える化によるごみに対する意識の向上をはかり、ごみの減量、ごみの分別、ごみ捨てマナーの向上を目指します。

## ● 指定ごみ袋とは・・・（参考）

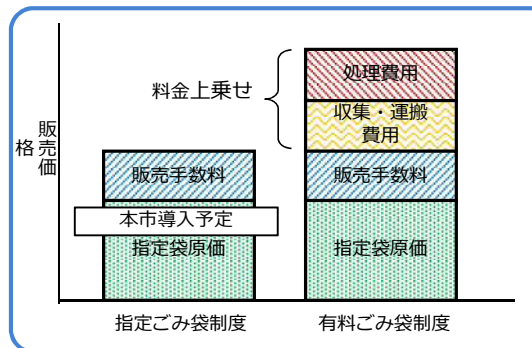
指定ごみ袋を導入すると可視化による意識の変化等により、ごみの分別の促進、減量、ごみ捨てマナーの向上の効果がみられます。色だけを指定する色指定、市独自のごみ袋とする単純指定ごみ袋、ごみ処理料金を上乗せした有料指定ごみ袋の3種類あります。

### 指定ごみ袋になると値段が高くなるの？

本市はごみ処理料金を上乗せしませんので、ごみ袋が販売されても、芦屋市には料金は入ってきません。

### 指定ごみ袋制度は自治体によって違うの？

指定ごみ袋の種類、対象品目、指定ごみ袋の数等自治体ごとに異なります。



芦屋市の指定ごみ袋は有料化ではありません

兵庫県下の燃やすごみ袋導入状況（令和3年6月末現在）

種類	該当市町	市町数
色指定ごみ袋	明石市、伊丹市、赤穂市、宝塚市、高砂市、川西市、小野市、播磨町	8市町
単純（〇〇市町）指定ごみ袋	神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市（令和4年4月～）、加古川市（令和3年6月～）、三木市、三田市、たつの市、稲美町、市川町、福崎町、神河町、太子町	13市町
有料（料金上乗せ）指定ごみ袋	洲本市、相生市、豊岡市、西脇市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、多可町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町	18市町
指定なし	芦屋市、猪名川町	2市町